



「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2025 八戸」参加報告

緩和ケア認定看護師 八重樫学

7月26日(土)・27日(日)に八戸ポータルミュージアム「はっち」で開催された第10回「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2025 八戸」に緩和ケアチームとして参加しました。この活動は、がん患者さんやそのご家族を支援し、地域全体でがんに向き合うことを通してがん征圧を目指すものです。ステージでは八戸市立市民病院 乳腺外科 金井綾子医長による乳がんに関する特別講演をはじめ、医療関係者によるがん啓発講演やがんサバイバーの方によるトークなどが開催され来場者は熱心に耳を傾けていました。また、子どもたちによるYOSAKOIソーランやフラダンスのパフォーマンス、ゴスペル歌唱、ラフターヨガ体験などが会場を盛り上げ、2日間合わせ985人が来場されたとのことでした。私たちも今回のイベント参加を通しがんになっても希望を持って暮らせる社会の実現へ向けて決意を新たにすることができました。



「とわだ育ち地産地消給食の日」 参加報告

さわらびキッズルーム栄養士 早川育美

院内保育所さわらびキッズルームでは、昨年度に続き、今年度も「とわだ育ち地産地消給食の日」に参加しました。第1回は「長芋」「小松菜」「奥入瀬のむヨーグルト」の提供をしていただきました。給食では7月4日(金)に長芋を使用した《長芋のお好み焼き》を、7月7日(月)に《飲むヨーグルト》を、7月9日(水)に小松菜を使用した《きやべつと小松菜の納豆和え》を作り提供しました。食育を兼ねて、いただいた食材を見たお子様たちは、初めて見る食材に興味津々な様子でした。実際に長芋をすりおろしているところを見せると「わあ〜」と歓声をあげて長芋のねばねばに驚いていました。お子様たちにとって、いろいろな食材に触れる良い機会にもなりました。次回の参加も楽しみです。





三本木高校 医療従事希望者見学会を開催しました

地域医療連携部 田中裕之

7月29日(火)三本木高等学校2年生を対象に医療従事希望者の見学会を開催しました。当日は31名の医療職種を目指す生徒が来院され、三本木高等学校卒業生の医師らより進路や受験にまつわるレクチャーを受けたほか、院内見学では普段入ることがないバックヤードや職員動線を体験しました。その後、希望する職種ごとに分かれて職業体験が行われました。参加した学生からは自分の進路が明確になった、イメージできた、ほかの職種も検討したい、など様々な気づきが得られたと思います。4年後(または6年後)、当院もしくは近隣の医療機関で活躍されることに期待しましょう。見学会に協力いただきましたスタッフの皆様、ありがとうございました。※第2陣は8月6日(水)に14名の受入れ予定です。



令和7年度 第3回

「十和田市民あんしん生活活用講座」のお知らせ



テーマ MCI(軽度認知障害)について/
寸劇「あるある詐欺にご用心!~また言ってる、
搜してる。いつものことと見逃さず。~」

日時: 8月22日(金)18:00~

講師: 当院メンタルヘルス科

竹内 淳子 先生、
じゅんちゃん一座

場所: 1階正面エントランスホール

定員: 50名(要予約)

申込締切: 8月18日(月)18時

予約方法: 右QRコードからお申込み
いただくか下記へお電話ください。

申込み/問合せ: 23-5121

(医療介護連携相談支援センター)



樹木が生まれ変わり… 「ナイチンゲール像」が完成しました

当院駐車場の一角に「フローレンス・ナイチンゲール」の木像が登場しました。これは伐採された木を活かすべく、当院丹野事業管理者が市内のチェーンソーアーティスト菅岡仁さんに依頼し作成いただいたものです。菅岡さんは昨年「第17回東北チェーンソーアート競技大会」で優勝。稲生川沿いのフクロウや妖怪アマビエなど、確かな腕前から生まれる作品は各所で人々の目を楽しませています。

この像は右手にランプを持っていますが、これは彼女がクリミア戦争に従軍した際、毎晩病室を見回り看病した有名な姿を表しています。この献身により「ランプの貴婦人」「クリミアの天使」とたたえられ、その後世界初の近代的な看護学校を設立し「近代看護教育の母」とも呼ばれています。

